

神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 3

ペテロの手紙における命と建造

聖書：Ⅰペテロ 1:8, 2:1-5, 9, Ⅱペテロ 1:3-4

I. ペテロの手紙と全聖書の中心思想は、命と建造です——Ⅰペテロ 1:23, 2:2-5, Ⅱペテロ 1:3-4:

- A. 命とは、キリストの中に具体化され、その霊として実際化された三一の神が、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの享受となることです。建造とは、召会、キリストのからだ、神の霊の家であり、それは神の拡大また拡張であって、神を団体的に表現します——創 2:8-9, 22, マタイ 16:18, コロサイ 2:19, エペソ 4:16。
- B. キリストは命の種として、わたしたちの内側の命の力です。この力は、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、わたしたちにすでに与えています。それは命の成長と発展を通して召会を建造し、命の豊富な余剰、また命の表現となるためです——Ⅱペテロ 1:3-4, 参照、使徒 3:15, 詩歌 154 番 4 節。

II. 神の目標は、生ける石で建造された霊の家を持つことです——Ⅰペテロ 2:5:

- A. わたしたちの命として、キリストは朽ちない種です。神の建造のために、彼は生ける石です——1:23, 2:4。
- B. ペテロの悔い改めの時、主は彼に、ペテロ、すなわち石という新しい名を与えました(ヨハネ 1:42)。ペテロがキリストに関する啓示を受けたとき、主はさらに、ご自身が岩、すなわち石であることを啓示しました(マタイ 16:18)。この二つの出来事によって、ペテロは、キリストと彼の信者たちが神の建造のための生ける石であるという印象を受けました(Ⅰペテロ 2:4-8, 使徒 4:11, イザヤ 28:16, ゼカリヤ 4:7)。
- C. わたしたち、キリストにある信者は、再生と造り変えを通して、キリストの複製としての生ける石となります。わたしたちは土くれから創造されましたが(ローマ 9:21)、再生の時、神聖な命の種を受けました。その種はわたしたちの中で成長することによって、わたしたちを造り変えて生ける石とします(Ⅰペテロ 2:5)。

III. 神の建造は生きているので、成長します。神の家としての召会を真に建造することは、信者たちの命における成長によります——エペソ 2:21:

- A. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは主を愛し、わたしたちの霊に注意し、何ものにもまさってわたしたちの心を見守って、命の道にとどまらなければなりません——Ⅰペテロ 1:8, 2:2, 5。

3:4, 15. 箴 4:18-23. 申 10:12. マルコ 12:30.

B. キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕き、すなわち、栄光の霊としてのキリストのすべてを含む霊の中の、キリストの殺す死を経験しなければなりません。それによって、わたしたちの中の以下の障害は対処され、取り除かれることができます—— I ペテロ 1:11. 4:14. 詩 139:23-24 :

1. クリスマンであるとは、キリスト以外の何ものも、わたしたちの目標としないことを意味します。この事に対する障害は、命の道を知らず、キリストをわたしたちの命としないことです——マタイ 7:13-14. ピリピ 3:8-14. コロサイ 3:4. ローマ 8:28-29.
2. 第二の障害は偽善です。人の霊性が決定されるのは、外側の現れによってではなく、いかにキリストに注意を払うかによってです——マタイ 6:1-6. 15:7-8. ヨハネ 5:44. 12:42-43. 参照、ヨシュア 7:21.
3. 第三の障害は反逆です。わたしたちは事を行なうことにとっても積極的で熱心であっても、わたしたちの内側の生けるキリストを軽視することによって、なおも彼を監禁し、不従順であるかもしれません——レビ 14:9, 14-18. 11:1-2, 46-47. ローマ 16:17. I コリント 15:33.
4. 第四の障害は、わたしたちの天然の能力です。もしこれらの天然の能力がわたしたちの中で砕かれないままであるなら、キリストの命にとって問題となります——2:14-15. 3:12, 16-17. ユダ 19 節. 参照、レビ 10:1-2.

C. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは、「すべての悪意と、すべての悪巧みと偽善とねたみと、すべての悪口とを捨て去」らなければなりません—— I ペテロ 2:1.

D. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは神の悪巧みのない言葉の乳で養われなければなりません—— I ペテロ 2:2 :

1. 悪巧みのない乳は、神の言葉の中で伝達されて、わたしたちの理性のある思いの理解を通してわたしたちの内なる人を養い、わたしたちの知性の機能によって吸収されます——ローマ 8:6. 参照、申 11:18.
2. 言葉の養う乳は、思いを通して魂のためですが、それは最終的に、霊を養い、わたしたちを魂的ではなく霊的にし、神の霊の家として建造されるように適合させます——参照、 I コリント 2:15.
3. 言葉の乳を享受し、神と言葉の中の彼の良きことを味わうために、わたしたちはすべての祈りによって彼の言葉を受け取って、彼の言葉を思い巡らさなければなりません—— I ペテロ 2:3. エペソ 6:17-18. 詩

119:15, 23, 48, 78, 99, 148:

- a. 言葉を思い巡らすとは、注意深く考察することによってそれを味わい、享受することです—— I ペテロ 2:2-3. 詩 119:103。
 - b. 祈りも、自らに語ることも、主を賛美することも、言葉を思い巡らすことに含まれます。言葉を思い巡らすことは、「反芻^{はんすう}する」こと、多くの再考慮を通して、神の言葉を受け取ることです——レビ 11:3。
4. 言葉の中の養う乳としてのキリストで養われることによって、わたしたちは成長して完全な救いへと至り、造り変えを通して円熟へと至り、栄光化されます。I ペテロ第 2 章 2 節の救いは、神の建造のための造り変えの事柄です。
5. わたしたちは、わたしたちを養う「乳・キリスト」を享受し、「石・キリスト」としての彼をもって造り変えられ、「からだ・キリスト」として、神の霊の家として建造されて、聖なる祭司の体系となります——2-4 節. I コリント 12:12-13。

IV. 聖なる祭司の体系、すなわち組み合わされた祭司団は、建造された霊の家です。神は彼の住まいのための霊の家と、彼に仕えるための祭司団、すなわち団体の祭司の体系を求めています—— I ペテロ 2:5. 出 19:5-6:

- A. わたしたちは、「選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民です」(I ペテロ 2:9)。「選ばれた種族」は、わたしたちが神を源とすることを意味し、「王なる祭司の体系」は、わたしたちが神に仕えることを意味し、「聖なる国民」は、わたしたちが神のための共同体であることを意味し、「所有として獲得された民」は、わたしたちが神にとって尊いことを意味します。
- B. わたしたちの団体的な祭司の奉仕は、わたしたちを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を福音として告げ知らせることです(9 節)。それによって、わたしたちは「イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげ」ます(5 節後半)。この霊のいけにえは以下のものです:
1. 旧約の予表のすべてのいけにえの実際であるキリスト。全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物などです——レビ第 1 章—第 5 章。
 2. わたしたちが福音を宣べ伝えることによって救われた、キリストの肢体としてささげられた罪人——ローマ 15:16。
 3. わたしたちの体、わたしたちの賛美、わたしたちが神のために行なう事——12:1. ヘブル 13:15-16. ピリピ 4:18。

C. わたしたちの主に対する祭司の奉仕はすべて、「測りなわの神」としての彼を源としていなければならず、わたしたち自身からであってはなりません。わたしたちの祭司の奉仕はすべて、彼の導きと彼の制限にしたがっており、彼の死をわたしたちの内側で働かせなければなりません。それによって、彼の復活の命はわたしたちを通して、他の人の中へと分け与えられることができます——Ⅱコリント 10:13．ヨハネ 12:24．21:15-22．サムエル下 7:18，25，27．ルカ 1:37-38．詩歌 650 番。

©2024 Living Stream Ministry